



「初心者」タイプ



SDGs ポジショニング診断 【β版】



「ウォッシュュリスク」タイプ



「内弁慶」タイプ



「寡黙な優等生」タイプ



「饒舌な優等生」タイプ

© 2021 Yoshimi Inoue

ご案内

2021/06



Tokyu Agency Inc.



- 10分程度で回答できる簡単なアンケートにお答えいただくことで、あなたのブランド/事業/会社の現状を以下の5つの「タイプ」に分類。
各「タイプ」ごとに、今後のSDGs対応や、SDGsコミュニケーション展開のポイント等をご提案します。



「初心者」タイプ



「内弁慶」タイプ



「寡黙な優等生」タイプ



「饒舌な優等生」タイプ

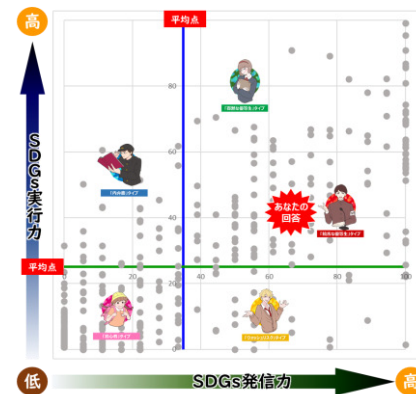


「ウオッシュリ스크」タイプ

© 2021 Yoshimi Inoue

※「診断」の基準や結果は当サービス独自のものであり、国連その他の公的な認証等を受けたものではありません。

- また、あなたの回答結果は、「SDGs実行力」と「SDGs発信力」の2軸としたマップの上にプロットされ、事前調査で集められた国内ビジネスパーソンの回答結果と比較した位置づけを把握していただくことが可能となります。

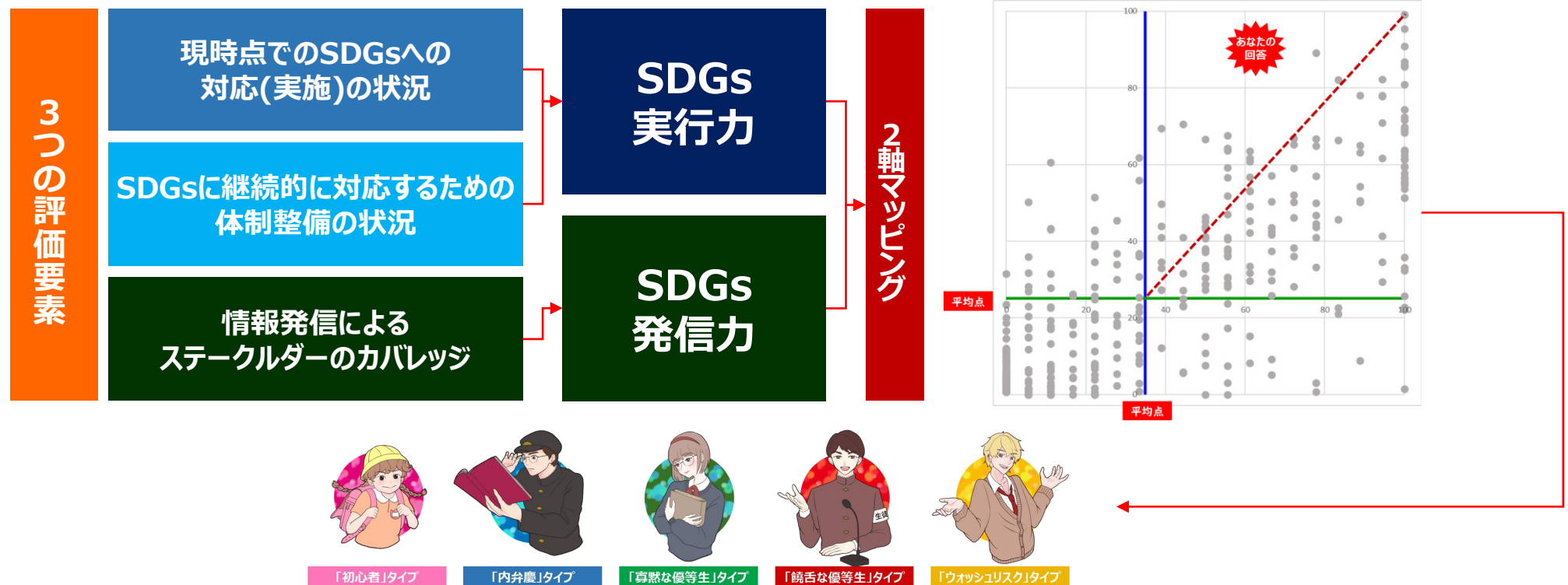


【事前調査】

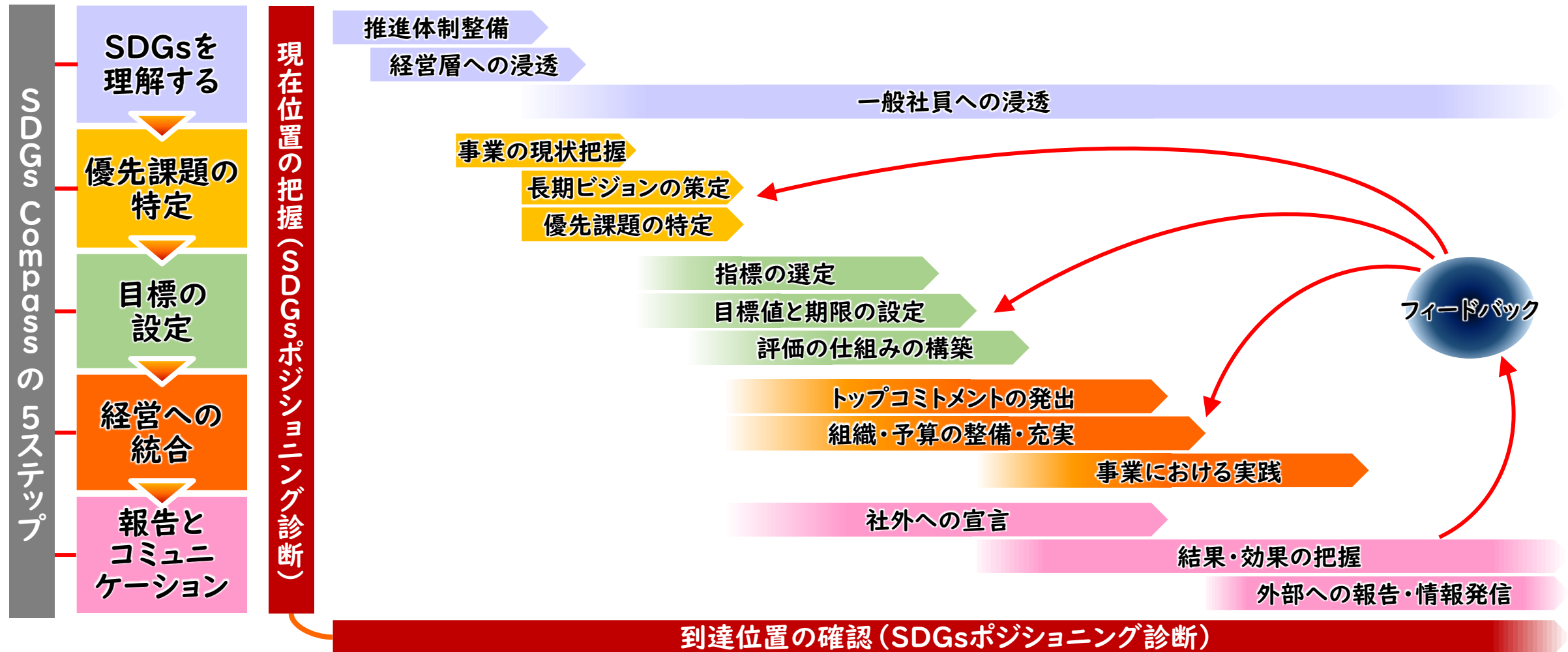
- 日本国内に在住する30代～60代までの会社経営者・役員・従業員の男女を対象に実施
- 当「診断」と同じアンケートに対する515サンプルの回答から、「実行力」「発信力」とも「0」の回答を除く398サンプルの回答を対象に分析
- 調査実施：2021年4月6日-7日

- ご希望の場合には、更に詳細な分析と評価を行い、現状の課題や今後の強化ポイント等をより細かく把握できるサービスをご提供します（有償）。

- 「診断」のアンケートでは、
 - ① 現時点でのSDGsへの対応(実施)の状況
 - ② SDGsに継続的に対応するための体制整備の状況
 - ③ 情報発信によるステークホルダーのカバレッジという、3つの要素について回答していただきます。
その回答結果を要素別に得点化した上で、「SDGs実行力」と「SDGs発信力」の2つの指数を算出します。
- 2つの指数のバランスで回答結果を5つの「タイプ」に分類し、今後の課題等を分かりやすくお伝えします。



- 企業/事業活動へのSDGsの導入（事業活動とSDGsの統合）にあたっては、「SDGs Compass」の5つのステップも参照しながら、各階層をさらに細かくブレイクダウンすることによって、よりスムーズな導入が実現すると考えられます。
- 「SDGsポジショニング診断」は、このような現状確認にもご活用可能です。

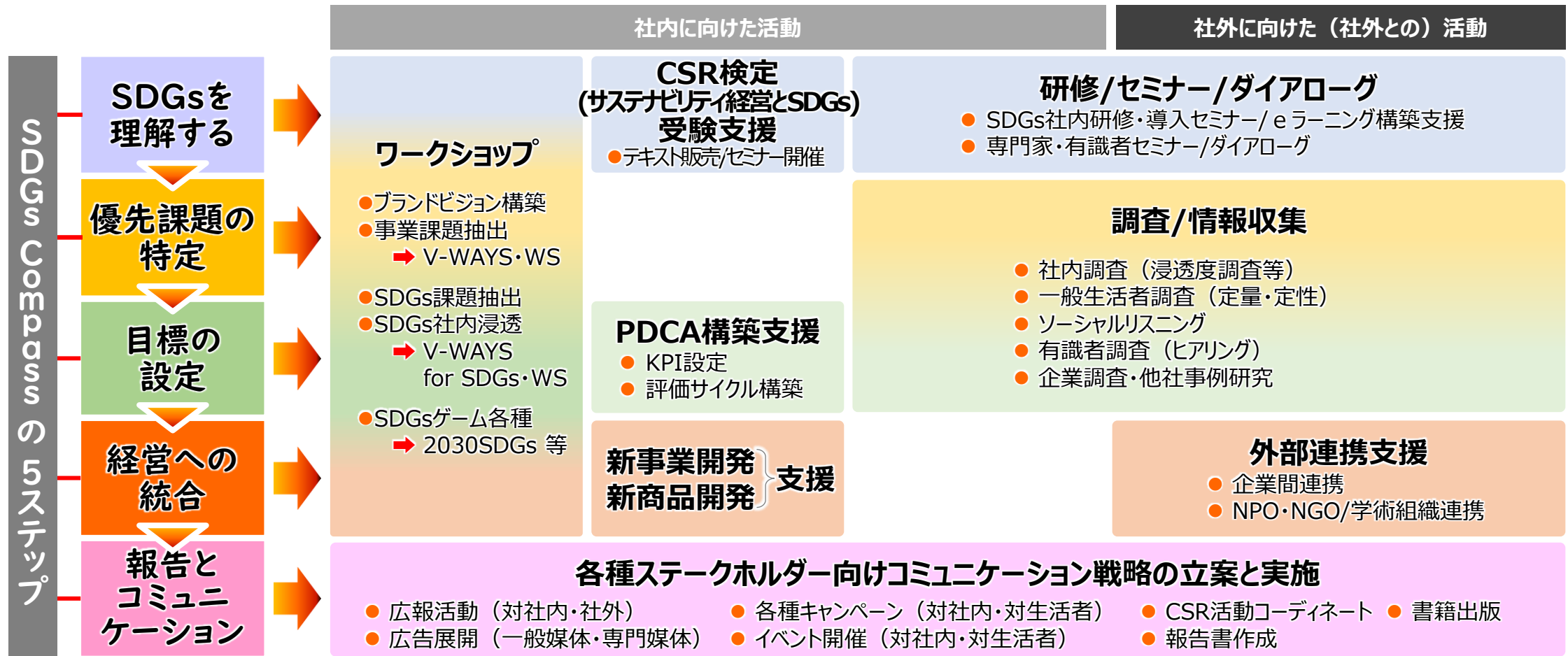


※当診断のサービス等の内容は、サステナブル・ビジネス・マガジン『オルタナ』様の監修ご協力のもと、当サービスが独自に開発したものであり、国連その他の公的機関等の認証等を受けたものではありません。

※診断結果はメールでのご連絡となります。
お名前とご所属、ご連絡先（メールアドレス）のご回答が必要です。

※基本の診断結果を無料でご利用いただけますが、現在、【β版】での運用中につき、診断結果ご送信まで、最大で1週間程度のお時間をいただいております。

- 東急エージェンシーのSDGsプランニングユニットPOZIでは、「SDGsポジショニング診断」の他にも、クライアントの皆様のSDGs推進やSDGsコミュニケーションをサポートするために、様々なサービスをご用意しております。
- ご興味のある方はお気軽にお問合せ下さい。



未来がつづく、ビジネスアイデアを。



<https://pozi.jp/>

※お問い合わせ：pozi@tokyu-agc.co.jp